

## 2009 年室内環境学会第 4 回役員会議事要旨

日 時：平成 21 年 10 月 2 日（金）15 時～17 時  
場 所：（株）アイデック事務所内 5 階会議室  
出席者：小野、池田、中井、川上、篠原、柳、野崎、  
柳沢\*、樺田\*  
東、斎藤、橋本  
事務局：中島、松村\*、色摩  
\*委任出席

### 議事次第

#### 1) H21 年度総会の準備状況について

東大会長より準備の進捗状況について説明があった。口頭発表（60 件）、ポスター発表（36 件）、機器展示、広告、NPO 企業プレゼンテーション、協賛・後援等の申込み状況が報告された。また学生懇談会の開催が提案された。抄録集は室内環境 12 巻 2 号と同梱で事前に発送予定である旨報告があった。市民公開講座・分科会を含め、現状でのプログラム案が提示され、いくつかの配置換え・時間調整等が提案、討議された。併せて役員会・評議員会の日程案が出され、役員会を 12 月 13 日 12 時より、評議員会を同日 17 時より開催する予定とした。

関西支部設立に関しては、議論を継続してゆくとの報告があった。

#### 2) 「室内環境学概論」、室内環境 12 巻 2 号の準備状況について

室内環境 12 巻 2 号の準備状況について報告があった。解説 1 報、原著 5 報、技術資料 1 報の掲載が予定されており、予定通り 12 月 1 日発行の見込みと報告された。

続いて室内環境学概論の準備状況について説明があった。目次案と現段階での編集担当・執筆予定者が報告された。ほぼ執筆者の内諾が得られており、予定を前倒し、10 月末までに学会事務局から執筆依頼を執筆要領とともに郵送する旨提案された。執筆者の決定していない節についても候補者が提案され、早急に打診することとした。また、役員からも意見があれば提案いただくこととなった。なお、執筆者には献本が 1 冊なされる予定であるが、非会員の執筆者には別途謝金を出すことが了承され、事務局で金額を決定することとした。

#### 3) 日台における連携について

池田社会連携委員長より、台湾病態建築診断協会から連携についての提案があった件について、これまでの経緯について説明があった。また小野

会長より、2005 年に日韓、2006 年に日台の室内環境学会との間で協定が結ばれていること及びその後の状況について報告があった。台湾内での両団体の関係・状況について確認することとし、疑問等ある場合は 10 月 20 日頃までに池田委員長へ連絡することとした。

#### 4) 委員会等報告

学術委員会：中井委員長より、総会において学生懇談会を開催したい旨提案があり、了承された。学生中心に進めてもらい、来年以降も継続的に開催したい意向であると説明があった。その他、英文誌発刊については素案を作成している段階であるが、韓台との検討（相談）に向けた素案を作成している。

事業委員会：柳委員長より、1 月に東京で「閉鎖空間の室内環境（仮）」をテーマに講演会を予定している旨報告があった。また企業に対する「永年功労賞」の設立に関し、担当者を決定して来年度に向けて表彰規定の作成を進めていると報告された。その他（財）東京顕微鏡院、日本エアロゾル学会に共催を決定した旨報告があった。

広報委員会：篠原委員長より、委員会を開催して HP の更新点・修正点等の洗い出し作業を行なった旨報告があった。各種間違いの訂正、研究発表会案内の更新、5 年より古い学会誌のフルテキスト化作業の進展、会費納入状況の確認画面の作成、法人会員リストの更新、インタビュー記事の作成等が報告された。また公開 HP におけるバナー広告の募集を開始することとし、案内文・申込書が提示され、学会誌へ掲載することにした。郵貯ログイン振込、学会宣伝ビラについては調査検討中とのことだった。

その他九州支部（支部規定の策定準備中）、化学物質分科会（10 月に第 3 回分科会として勉強会、12 月に総会で講演 2 題を含む分科会を開催予定）については文書で報告があった。

東北支部：野崎支部長より、ニュースレター（みちのくのシーナリー）を発信したこと、燃焼器具分科会と連携して実測調査を予定している旨報告があった。併せて燃焼器具分科会より、石油ファンヒーターを対象としたチェンバー実験を行なった旨の報告がなされた。

また川上委員長より、室内環境第 12 巻第 2 号掲載の会報原稿について執筆状況の確認があり、併せて事務局からの依頼・確認等についての改善意見が出された。

更に小野会長から、論文賞については規定に基づき、会長が選考委員会を立ち上げ、総会までに選考する旨発言があった。また、大会長奨励賞の昨年度の選考状況について報告があり、特に口頭発表の選考方法について問題提起がなされ、各役員からいくつかの意見・提案が出された。

5) H22 年度及び H23 年度総会について

小野会長より、H22 年度総会については中井副会長に大会長をお願いしたい旨提案があり、了承された。また、H23 年度総会は地方開催の予定のため、これまで開催実績のない北海道、中部、四国地方等を念頭に開催可能性の打診を継続することとした。また、支部の設立手順について質問があり、役員会、評議員会を経て総会で報告という手順が確認された。

6) その他

- ・小野会長より、総会議事次第の確認があり、監査、決算報告等の役割分担が示された。
- ・その他事務局から連絡事項が伝達された。
- ・WG の設立及び位置づけ、標準化委員会及び（空気清浄機器検定）協会等の関係について整理・確認があり、留意点が示された。

以 上